

賛否が分かれた案件の審議結果一覧

※議長は裁決に加わりません ○：賛成 ●：反対 欠：欠席

議案番号	件名	無所属の会 市民の力			誠心会			議会改革 ネットワーク		日本共産党 湖南市議団		湖南市 南公議団		無党派				
		望月卓	堀田繁樹	森淳	奥村幹郎	菅沼利紀	上野顕介	加藤貞一郎	小林義典	植中 都	赤祖父裕美	立入善治	松井圭子	桑原田美知子	細川ゆかり	藤川みゆき	大島正秀	大角道雄
議案第85号	湖南省甲西駅前広場条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	●	○	○	○	○	○	○
議案第87号	平成29年度湖南省一般会計補正予算(第5号)	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○
議案第92号	変更契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○
議案第93号	変更契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○
議案第94号	変更契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○
議案第113号	おうみ自治体クラウド協議会規約の変更に関する協議につき議決を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	●	○	○	○	○	○
議案第114号	公立甲賀病院組合規約の変更に関する協議につき議決を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	●	○	○	○	○	○
意見書第5号	巨額な県民負担となる国体施設整備費の削減を求める意見書	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	●	●	●	●	●
意見書第6号	核兵器禁止条約への参加を求める意見書	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	●	●	●	●	○

意見書 巨額な県民負担となる 国体施設整備費の削減 を求める意見書

滋賀県は、2024年に予定している国体にむけて施設整備を進めています。彦根市の主会場の整備や県立体育館の移転・新築におよそ300億円。計画の全体が決まっているわけではなく、未確定な施設整備や大会運営費用なども含めれば、総額で600億円にのぼる可能性があります。主会場については、現在も活用されている施設(陸上競技場、庭球場、プール、体育館)を取り壊して新たに建設が予定されています。国体の開催費用がふくらみ自治体財政を圧迫したこと、全国知事会は決議(平成14年)を上げ、既存施設の活用や施設がない場合は広域で開催するな

ど、国体の「簡素・効率化」が進められてきました。数十年に一度の国体に、貴重な税金を費やすのではなく、社会保障や子育て支援の拡充・教育施策の充実。「滋賀国体」のあり方と無駄づかいを抜本的に見直し、コンパクトな「滋賀国体」の開催を求めた意見書です。

意見書 賛成少数で否決

核兵器禁止条約への参加を求める意見書

趣旨

日本政府は、国連や軍縮協議の場で核兵器のない世界の実現のために役割を果たすと、繰り返し述べているにも関わらず、核兵器禁止条約に背を向ける態度は、内外の強い失望と批判を招いています。核兵器禁止条約に参加することを強く求めます。

賛成討論

国連での「核兵器禁止条約」の採択、ICANのノーベル平和賞の受賞に続き、国連総会が、人類史上初めて核兵器の使用や威嚇などを、違法化した核兵器禁止条約の採択を歓迎し、全加盟国に早期の署名・批准を呼びかける決議案を賛成多数で採択しました。核兵器禁止条約を全ての国に結ぶことを求める「ヒバクシャ国際署名」の結成集会が県内被爆者や武村正義・國松善次元滋賀県知事をはじめ、滋賀県医師会会長など、多くの方がよびかけ人となり滋賀県で行われます。また、平成17年8月湖南省議会議臨時会で、議員提案の「非核平和都市宣言に関する決議」が全会一致で可決されました。歴代の先輩議員の思いも含め賛成とします。

賛成少数で否決